

財団法人 堀江オルゴール博物館通信

第 22 号 2011 年 3 月 2 日発行 文責 中田

〒662-0088 兵庫県西宮市苦楽園 4 番町 7-1
TEL.0798-70-0656(ナレオルゴール) FAX.0798-72-0110
<http://www.orgel-horie.or.jp/> Email info@orgel-horie.or.jp

ピアノロール Part 2

前回に引き続き、今月号でもピアノロールを取り上げようと思います。ピアノロールとは、録音技術の高い蓄音機が世に出るまでの数年間活躍した、自動ピアノにセットしてピアニストの演奏を再現するロール紙ですが、現在ではレコードにも録音されていない当時の偉大なピアニストの演奏を聴ける大変貴重な資料になっています。

ピアノロールにはクラシックだけではなく、ラグタイムやポピュラーなど様々なジャンルの音楽が記録されましたが、どのようなピアニストがどのような曲を残したのか見ていきたいと思います。当館所蔵のピアノロールの中からいくつか挙げてみます。中でもコルトーの演奏ロールはコルトーの直筆サインが入った大変貴重なものです。

名ピアニストが残した名曲 スタインウェイ デュオ アート用ピアノロールより (当館所蔵)

演奏	ラヴェル	「亡き王女の為の Pavane」	作曲	ラヴェル
演奏	ガーシュイン	「ラプソディー イン ブルー I、II」	作曲	ガーシュイン
演奏	ハロルド バウアー	「幻想即興曲」	作曲	ショパン
演奏	パデレフスキー	「ハンガリー狂詩曲 第 10 番」	作曲	リスト
演奏	ホロヴィッツ	「死の舞踏」	作曲	サンサーンス
演奏	コルトー	「アンダンテスピナートと華麗なる大ポロネーズ」	作曲	ショパン
演奏	クロイツァー	「マズルカ Op.30 No.4」	作曲	ショパン

クラシック以外のピアノ曲

上記の他にも、当時はいろいろなジャンルの曲がピアニストによって記録演奏されました。クラシック以外で人気があったのは、当時アメリカ南部で生まれたラグタイムと呼ばれる音楽です。1912年にラグタイムが初めてピアノロールに記録されましたが、演奏者は盲目のピアニスト、ジョン・ウィリアム・ブーンだったと言われています。その後、1916年にはキング オブ ラグと呼ばれたスコット・ジョプリン (写真 右) が記録演奏しています。ジョプリンはロールを完成させた数ヵ月後に病死しますが、今では当時のアメリカ音楽の最も有名な録音 (記録) のひとつになっています。蓄音機と並行してポピュラー音楽もピアノロールに記録されていました。Alan Moran は William C.Handy の St.Louis Blues を弾いて記録していますし、作曲家、ピアニストとして活躍した Rube Bloom は、自身の曲 Spring Fever を演奏記録しています。



スコット・ジョプリンが演奏した
ピアノロール (1916年 記録)

Maple Leaf Rag
Magnetic Rag
Weeping Willow Rag
Something doing
Ole Miss Rag
Pleasant Moments

2011年3月のプログラムご案内

テーマ「リクエストプログラム」 3月1日(火)～31日(木)

但し期間中の月曜日 は休館です。 21日は開館、22日が休館となります。

春の庭園特別公開のお知らせ

4月28日(木)～5月29日(日)

400年前 大坂城再築の際に石切り丁場だった歴史ある場所
今は新緑の紅葉とつつじが美しい花を咲かせる当館の庭園を
5月の1ヶ月間 公開致します。オルゴール演奏の前後に
ゆっくり春の庭園をご散策下さいませ。上記期間中イベントを行います。こちら是非お楽しみ下さいませ。

イベント 第1弾

4月28日(木)～5月1日(日) 午後3時より

新緑の庭園と旧堀江邸で自動オルガン(エオリアン)の演奏を楽しむ午後

普段は非公開の旧堀江邸の広間で100年前の自動オルガンの演奏をお楽しみ下さい。旧堀江邸の見学と、庭園のご散策もどうぞ。
詳しくはホームページ、または受付のチラシをご覧くださいませ

オルゴール博物館ニュース



去る2月10日～13日に RAGTIME&JAZZ の特別演奏会を行いました。普段演奏しないアコーディオン付きピアノやバンジョーなどの自動演奏楽器で楽しく踊りながら有名なジャズのナンバーやスコット ジョプリンの演奏を聞いて頂きました。寒い中お越し頂いた皆様、ありがとうございました。